日本女子体育大学附属二階堂高等学校

第七十六回 入学式

式 辞

暖かな光まぶしい春は、悠々と北上を続けております。

本日、第76回入学式が挙行できますことは、本校にとって、この上ない慶びであり、日頃よりご支援いただいている、多くの皆様に、感謝申し上げます。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。教職員・在校生一同心から歓迎致します。そして、ご家族・保護者の皆様方にも、高段からではございますが、心よりお慶びを申し上げます。

皆さんは、今日から日本女子体育大学附属二階堂高等学校の、生徒の一員となりました。この喜びは、これまでの弛まない努力と、頑張りがあったからです。しかし、その陰には皆さんを支え育てて来られたご家族や、各中学校で丁寧にご指導いただいた、先生方のご苦勞があったことを忘れてはなりません。新たな一步を踏み出すにあたり、お世話になった方への感謝の気持ちを忘れることなく、更なる高みを目指し大きく成長することを、期待しています。

さて、本校は創立以来70年を超える伝統と、約12,000人の卒業生が今日まで築き上げてきた素晴らしい校風があります。将来を見据えた、各コースにおける主体的な学習活動はもとより、価値観の多様化や、人権尊重の信念に基づいた人間教育。そして、実績が高く評価されている部活動など、建学の精神でもある「スポーツを中軸とした、教育を実践し、心身ともに、健康な人を育成する」という理念に基づき、日々の教育活動が実践されています。

また、校訓である「勤勞」「感謝」「礼節」を重んじ、社会に参画し、貢献するために必要な豊かな教養と、忍耐力や、協調性を身に着けた生徒を育てています。

さらに、先行き不透明な社会の中で自らを律し、たくましく生き抜く力を身に付けることが、建学の精神を継承した、教育活動の根幹となっています。本校の初代校長でもある

二階堂清寿先生は、戦後の間もない混乱期に於いて、日本の発展は女子教育にある。と考え、この松原に本校を創立されました。その精神を今日まで受け継ぎ、社会のニーズを先取りし現在に至っています。中でも、語学に特化した自立型学習スペースである N-SALC（二階堂、セルフ、アクセス、ラーニングセンター）を 2 年前に開設しました。この N-SALC が果たす役割は大きく、さまざまな成果が期待されています。例えば、新型コロナウイルスの、世界的なパンデミックは、3年間続き改めて、人々の行動・経済活動、そして、文化交流等の仕組みは、国境を越えて成り立っていることを、実感する機会となりました。このように、ウイルスと闘いながらも、グローバル化が加速する社会において、必要とされる英語によるコミュニケーション能力や、英語検定への挑戦など、誰もが意欲的に取り組めるのが N-SALC です。皆さんも、これから大いに活用してください。

次に、明日からの高校生活をより充実させるために次の 2 つのことを教示します。

まず、1 つ目は「学び」についてです。新入生の皆さんは、今後さまざまな場面において、学びの深化を図り、自ら考え、判断し行動する能力を、身に付けることが求められます。授業・行事・探究・生徒会・部活動など、高校 3 年間の幅広い学びの提供は、生徒一人ひとりの成長を願う、二階堂高校としての思いが込められています。これからの時代をたくましく生きるために、必要とされる資質や能力を、確かな学びと体験から本気で習得し将来の自己実現につなげてください。高校は義務教育ではありません。所定の単位を履修し、習得できなければ留年となります。指示されたことを、受け身で、体裁を整えるだけの学びでは、習得にはつながりません。また、教科の枠を超えた横断的なりべらルーツ学習や、アウトプットを重視した協働型学習、そして基礎・発展・応用の個別によるリフレクション学習にも積極的に取り組み、隙間のない学びへの挑戦が重要となります。学ぶことは、生涯続きますが、特にこれからの三年間の学習活動は、次のステージに、大きな影響を及ぼし、豊かな人生にもつながることを自覚してください。

2 つ目は、「高い目標を持って生活する」ということです。3 月に開催された WBC ワールドベースボールクラシックにおいて、日本は 14 年ぶりに優勝し、大いに盛り上がりました。中でも投打に活躍し、注目されたのが大谷翔平選手です。大谷選手が高校一年生の時に作成したのが、「目標達成シート」です。マンガラチャートとも言われ、目標を達成す

るために、81にも及ぶ具体的な取り組みや、アイデアを可視化し、シートにまとめたものが公開されています。大谷選手は、目標を着実に達成するための地道な努力を高校一年から続け今があるのです。皆さんも、新たなスタートライン立った今、適切な目標を設定し、計画的に努力していくことが重要です。実現できない目標や、容易に達成できてしまう目標は無意味です。また、失敗を恐れず、本気で頑張らないと実現できない目標を、着実に達成し、積み重ねていくことが、夢や希望を具現化させる、近道になります。学校教育は、保護者の皆様の理解と協力。教員による、目の前の生徒を変えたいと思う、熱意と実践。そして、生徒の、自己肯定感に基づく、継続的な努力が、歯車のようにかみ合うことで、成果が見えてきます。苦難を苦難とせず、立ち向かう集団「チーム二階堂」の一員としての活躍と、自己の成長を実感できる3年間となることを、期待しています。

結びになりますが、ご家族や保護者の皆様、本日は、誠に おめでとうございます。コロナ禍は、今後どのような社会的影響を及ぼしていくのか、見えない不安はありますが、教育を止めることなく、本校でお預かりした生徒、一人一人の健康と、安全を優先し、心身ともに、健やかに、賢く、成長されますよう、教職員一同、全力で指導して参ります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育目標や、学年の指導方針を十分にご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

令和5年4月9日

日本女子体育大学附属二階堂高等学校

校長 工藤 公彦